● **竹蛇籠設置1周年生き物調べ 10月8日(土)10時～12時 20人の参加**

この日の大物としてモクズガニ、ヒメドロムシが捕獲できたことです。流域では9種類で、止水域では19種類の生き物でした。中でもメダカが捕獲できたことは止水域が誕生したので、生育しているのではないのでしょうか。取り組みでは不十分な体制でしたので、それほど多くの方が集まってくれるつもりをしていなかったのですが、なんと20人を超える参加者があって、随分と関心が高いものだと改めて認識させられました。竹門先生から詳しい解説が行われた中でヒメドロムシは長さ8mmで、太さは $\frac{1}{10}$ の大きさで、成虫だということでした。竹門先生はピンセットでつかまえないければなりません。また、多くの昆虫は複眼で物を見ている。二つ目とか見つめといった生き物が沢山生育しているということでした。1年を記念した調査会でしたが、冬にもう一度生き物調査を行ってはどうかと提案がありました。

● **会誌41号原稿完成しました。**

17日(月)から校正を始めますので、お手伝いをお願いいたします。約144頁です。できるだけ短時間で済ませることにしています。パートブロックごとに行います。ぜひお越しください里山の会事務所 で9時30分から16時までの時間帯です。できるだけ18日火曜日には校正を完了させて20日には印刷を開始する予定です。印刷できたら製本を行います。1冊に90秒の印刷時間ですので1時間に30冊が出来上がります。そしてホッチキス止めを行い、背表紙を張り付けて出来上ります。必要な資料を封入して宛名を張り付け、郵便局に届けます。手配りなどに仕分けをしてできるだけ早くお手元に届けることにいたします。

● **つる籠つくりにご参加をお待ちしています 10月22日(土) 集合時間は午前9時30分**

里山農園の周囲で蔓の採取を行い、教育棟の広場で籠を編みます。11月5・6日に行われる京田辺市民文化祭では、毎年人気の作品として売れ筋の作品です。できれば城陽市緑化まつりでも、京都府環境フェスタでも人気の作品です。都会では、こうした自然材料を使った作品は見られないもので、随分と関心があるのだなあとと思います。自然あふれる丸ごと自然物なのです。あなたもつる籠つくりに一足ご参加ください。お待ちしております。

● **サツマイモ掘りにご参加ください 10月16日(日) 集合10:00 里山農園 参加費 一人500円**

実りの秋の到来です。田圃の稲はすっかり黄金色になり稲刈りを待っています。畑では柿や栗が実ります。中でも秋を代表するのはサツマイモもその一つでしょう。昨年も多くの方々にお越しいただきました。今年の出来栄はどのようなのでしょうか。掘りたてのお芋を焼き芋やふかし芋にしてみましょう。

● **新米の配達 注文に応じることができます**

府営団地朝市で注文をお受けします 京田辺市で一番美味しいお米だといわれてきました。このお米はなかなか手に入りにくいものです。このチャンスはこの期間だけです。農園部会では求められるなら容量に加減をつけてご希望に添えるよう工夫を考えております。

● **10月と11月の予定**

15日・・・蔓籠つくり 京の川の恵みの会シンポジウム

16日・・・サツマイモ堀 京の川の恵みの会魚食べ比べ

20日・・・会誌41号製本作業 発送配達 河童の会15周年記念の集い

24日・・・京都府自然保全推進団体集会
30日・・・城陽市緑化フェスタ
11月3日・・・八丁平ハイキング
5・6日・・・京田辺市民文化祭
11・12日・・・ふれあい土木展
13日・・・映像で見る川の姿(蹴上)
18日・・・河川レンジャー運営委員会
20日・・・京田辺市環境フェスタ　　カヌー下り
26・27日・・・カヌー下り京田辺～点野(三川合流イベント)　　点野～桜ノ宮

● 京田辺市民文化祭 展示方針固まる

事務局で検討の結果、定番方式を取り入れる方向で準備することになりました。里山の会が生き物の調査を開始して15年になります。国蝶オオムラサキの生育確認を毎年行っていますので、その成果を広く市民にお知らせする必要があると気づきました。そして絶滅寸前種であるカスミサンショウウオの生息を再確認しましたので、その報告を行わなければならないことになりました。各種文化祭や発表会において展示報告します。そのほかの展示はタヌキマメの復活 竹蛇籠の取組 県外現地研修会報告(愛知用水) 展望施設、外来生物などを中心展示します。模擬店では京田辺市の木「ナンキンハゼ」の実と松かさを使ったツリーづくり体験、自分で作る綿菓子、農園作物、美味しい富有柿の格安販売を企画しています。スタッフにお越しく下さい。

11月5・6日(土日) 午前9時30分から15時まで、ご自由な時間にお手伝いにお立ち寄りください。

● 15日は田辺地区の秋祭りです。各地区で賑やかに御輿が巡行されます。

里山の会では9時30分から里山農園でつる籠づくりが行われます。13時30分からは川の恵みを生かすフォーラムが京都大学防災研究所宇治川オープンラボトリーで開催されます。報告者は淀川河川事務所環境課長、京都府水産課長 保津川漁協組合長鴨川漁協組合長 京淀川漁協組合長さんたち15人が行い、講評は川那部裕哉先生が予定されています。

● 16日は 里山農園での「サツマイモ堀り」が行われます

10時里山農園集合です。秋の味覚を楽しみましょう。できたら、つる籠づくりにも挑戦しましょう。赤とんぼが飛んでいるかな。